

一般質問

どうする

町政の課題

質問時間は1人45分、3問以内1問につき2回の再質問ができる。

12月11・12日の二日間、世羅町議会規則にそって、一般質問を行った。今回は14人の議員が、あらかじめ抽選した順序で、事前通告にそって、延べ33項目について執行者の施策やその方針などの所信を質した。

一般質問とは

議会は町の重要な意思を決定し、住民に代わって行財政の運営を監視する。そこでの議員は、行財政全般にわたって、執行者に疑問点を質し、所信の表明を求めるという固有の権能をもっている。これが質問権であり、一般質問は定例会で行われる。

質問の範囲は町の行財政全般にわたる。質問に対して、質疑がある。これは議題となっている事件に対する疑義の解明で、質問とは根本的に異なる。

質問は所信を質したり、事実関係を明らかにするにとどまらない時には政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明らかにす

ることもある。逆に、議論の産物として、現行の政策を變更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。

このようなことから議員、執行者ともに十分な準備が必要となるため、通告制としている。



共同で草刈

A **Q**

町道草刈管理は今後の課題とする



仙光保喜議員

●仙光 私たちの日常生活で欠かせないのが車であり道路である。財政難の状況下で新設改良は思いに任せない時代で、これからは維持管理が重要な仕事であると思う。

県道は、専門業者により道路側だけ年一回は草刈をしているが町道については地域にお任せというのが実態だ。しかし、地域での取り組みが無く個人で管理してきた人ができなくなり少ない年金の中か

らシルバー人材センターに依頼される事もある。今後の町道管理をどのようにしてゆくのかが。

■町長 道路における危険防止と通行の安全確保また、環境対策として世羅町シルバー人材センターに「町道管理業務委託契約」を結び実施している。約780kmある町道全線の草刈は無理で、多くの町道は地域協働によるまちづくりの一つとして日々の管理などの協力をいただいているところだ。

町としては申請により混合ガソリンの支給により、地域の協力に依っているのが実状だ。地域の母体としての位置づけで、自治センターを窓口として地域の問題点を抽出し行政側と将来的検討をする。

Q 雇用の確保と企業支援を

A 安易な解雇避けるよう要請



豊田 勲議員

●豊田 町長は、①町内企業に安易な解雇をさせないこと。及び、町の預託を受けた銀行が

貸し渋りしないよう要請せよ。②町民の緊急資金需要と住宅要求に応えること。
■町長 ①商工会を通じてお願いしている。預託額の3倍の貸し出しを要請している。②可能な限り対策したい。

Q 無理な学校統合せず文科省通達に従え

A 検討委員会の答申を尊重

●豊田 学校統合検討委員会は、教委の出した「素案」の通り統合を唯一の方向としている。文科省は無理にでも統合せよと通達しているのか。宇津戸では「学校を残せ」と陳情が出ているが、地域の声を尊重せよ。

Q 国保税の引き下げを安定的運営に努めたい

A

●豊田 国保会計には3億4千8百万円の基金があり、一世帯12万8千円余で、一世帯1万円以上の引き下げが可能であり決断を。資格証の発行は中止し、18歳以下にすべて保険証を。

■町長 医療給付費の動向を見ながら安定的



はつらつ津久志小の児童

■教育次長 小学校適正配置・適正規模検討委員会の答申を尊重したい。世羅全体を地域と受けとめてほしい。

運営に努める。資格証は状況を勘案し対応するが、義務教育終了ま

での人には発行しないことにした。



休園したつばき分園

Q 再編効果額での保育料値下げは

A 町全体の子育て支援事業へ

●仲行 保育所再編整備で廃止される施設の今後のあり方、児童の送迎など保護者の要望への対応、準備は進んでいるのか。また、再編整備による効果額を保護者へ還元するため保育料の値下げを考えるとどうか。
■町長 施設については地域振興協議会で検討していただき活用する方法を定める。送迎はこれまでの方針のとおり保護者をお願いする。施設の整備では駐車場の舗装、トイレの改修を行い、内容では児童のふれあいや交流事業などを進めている。保育料は現行の水準で行ってゆく。効果額については町全体の財政状況や総合的な視点で、今後の保育所運営や町全体の子育て支援事業に還元してゆく施策を検討する。

Q 無投票当選をどう受け止めるか

A

責任の重さを感じている



仲行 洋議員

●仲行 町長選の結果は無投票であったが、実績の評価で託されたのか疑問が残る。今後4年間の町政にどう取り組むのか。
■町長 今回の結果に

については有権者の全面的な支持を得たとは思わない。4年間の町政運営に対する厳しい批判、不満を受け止めたうえで、一層責任の重さを感じている。今後もしも厳しい財政状況は続くがマニフェストで示した町民との「約束」を実現し小さくてもキラリと光る町づくりを進めてゆく。

町長 今回の結果に



大見商店街

Q 世羅町役場跡地の経過は

A 円満な解決を目指す



岡田武士議員

●岡田 ①仮処分の申請は却下となり8月13日には町長は抗告しない方針を出したが、その後の対応は。②9月議会で弁護士費用を予算化した、その内訳は。③仮屯所が30年間の使用権があると言わ

れたと聞くが。

■町長 ①占有権、占有の妨害の排除が認知され消防活動が継続でき責任が果たせたとと思う。その後、相手方より訴訟を提起されたため、引き続き審理が行なわれる事となっている。②相手方の訴訟の対応（弁護士）費。③弁護士が法解釈に基づき主張・弁論するもので、審理中の案件なので具体的な答弁は避ける。

Q 大見商店街が暗闇に

A 自主的な取り組みに期待

●岡田 ①暗闇になった経過は。②世羅商店街に補助金があるがなぜ生かせない。

■町長 ①H3年に旧世羅町において16基整備、管理は地元で一部補助をしていたが、料金の支払が困難となり消灯状態。今後、復活に向け自主的な取り組みに期待。

みに期待。②要因として、補助金の削減と社会情勢の悪化で地元負担が増したため。

Q 浄水場の跡地利用は

A 有効利用の検討をする

●岡田 浄水場の跡地の有効利用法は。

■町長 過疎計画事業の位置づけを検討、有効利用を模索する。

Q 小学校の統合に英断を

A 統合検討委員会の答申で



徳光義昭議員

●徳光 小学校の統合については、子ども達に良い教育環境の整備が重要で、10年20年後の人口を見通した教育

効果、財政効果を基本に現在の10校を将来中学校単位の3小学校に統合を提案する。

■次長 小中連携教育の推進が望まれ、将来を見据えた教育効果、財政面も視野に入れ審議している。

通学バスを検討している。

Q 町道に1.5車線の特例を

A 町民の理解を得て活用したい

●徳光 町道に、やむを得ない場合は、地域の裁量で造れる特例規定がある。大幅なコスト削減と工期の短縮が

図られる町道建設を。■町長 交通量や家屋の少ない地域で、2車線道路を1車線や1.5車線に整備し、事業費の削減と工期の短縮が図られ、財政効果は非常に大きい。今後地元町民の理解を得ながら活用したい。



1.5車線道路(新山線)

Q 新年度の財政運営は

A 行財政改革の堅持

●徳光 H20年は米国の金融危機に端を発し、

百年に一度の金融災害といわれ、本町の産業や一般家計の打撃は予想困難だ。町の財政運

営は。■町長 H16年地方債残約220億円が現在、19.6億円に減額し、公債費約25億円を償還している。

今後も人件費、扶助費、公債費など義務的経費の抑制と地方債の繰り上げ償還、起債の借り入れ抑制を図る。